

育ちの支援・引継ぎシート （記入例 A）

ふりがな お子さんの名前	なめりかわ けい 滑川 蛍	保護者記入。 お子さんの名前にはふりがなをつけてください。
保護者の名前	滑川 太郎	
連絡先 (住所・電話番号)	滑川市〇〇一丁目△△番地 (tel; △△△-△△△△-△△△△)	

1 発達・行動・学習等の状況（家庭での様子）

保護者記入。

※これまで子育ての中で大切にしてきたことや、学校でも気をつけてみてほしいこと。

(すべての項目を記入する必要はありません。必要な部分のみ記入してください。)

項 目	よいところ・得意なこと	気になるところ・苦手なこと	てだて（配慮）
身辺自立 ・食事 ・排泄 ・衣服の着脱	身の回りのことは自分でできる。	箸がうまく使えない。	補助箸を使っている。褒めながら自分でできることを少しずつ増やしている。
身体運動 ・移動 ・手指動作		左利き。ハサミの使い方が下手で連続切りができない。	左利き用ハサミを使っている。切る箇所が分かりやすいように印を付けている。
コミュニケーション ・指示理解 ・対人関係	家ではよくしゃべる。きょうだいともよく遊ぶ。		
行動・情緒 ・家での様子 ・興味関心	絵本が好き（特に恐竜）で、よく見ている。ブロック遊びが好き。歌もすぐに覚える。	遊びに夢中になると、なかなか止めることができない。	時計で終わりの時刻を知らせているが、なかなか切り替えがうまくいかない。
学 習 ・聞く ・話す ・読む ・書く ・数		自分の名前は読めるが、書くことはできない。うまく書けないのでやろうとしなくなることもある。	
そ の 他 ・特に気になること	風邪もほとんどひかず基本的には元気。	汗っかきで皮膚が弱い。	タオルハンカチを常に持たせているので、こまめに拭くよう促している。

2 現在・将来についての思いや願い

保護者記入。

本 人	保 護 者
・仲のいい友達と別の小学校になるので寂しいけれど、小学校に行くのは楽しみ。 ・算数や平仮名のお勉強をがんばりたい。 お子さんに、小学校に向けての思いを聞いて記入してください。	課題に取り組める時間や集中力は短いですが、本人のやる気はあるので、できるところから自信をつけていけるといいと思っています。 お手伝いなども頑張ってくれるので、自分でできることを増やしていきたいと思っています。

3 学校に伝えておきたいこと

保護者記入。

慣れてくると活発ですが、初めての場所ではおとなしくなります。自分から質問したりすることが苦手なので、言葉を掛けていただけると安心です。『わかった？』と聞くと「わかった」と言ってしまうので、本当に分かっているか確かめてもらえると嬉しいです。
学校でのことを自分から話すのはあまりできないと思うので、入学後の様子を教えてもらえると助かります。

1. 2で記入したことをもとに、特に伝えておきたいことを記入してください。

記入日； △ 年 △ 月 △ 日

記入者； 滑川 花子（母）

4 幼児期の利用機関

在園機関名	滑川こども園	保護者記入。	4 月 ~
その他 (相談歴等)	・3歳6か月～、市健康センター ・4歳6か月～、県こども支援センター 年長～、作業療法(月2回)、言語療法(月2回)	これまで相談に行かれたところ があったら記入してください。	

5 発達・行動・学習等の状況(集団場面での様子)

※これまで保育・教育の中で大切にしてきたことや、就学後
(すべての項目を記入する必要はありません。必要な部分のみ)

項 目	よいところ・得意なこと	気になること	
身辺自立 ・食事 ・排泄 ・衣服の着脱	毎日やることはよく分かっていて、はりきって自分から行う。		
身体運動 ・移動 ・手指動作	体全体を使った活動に意欲的に取り組んでいる。	小さな物をつまんだり、ひねったりすることが難しい。	自然に手指を使えるような遊びに誘うようにしている。
コミュニケーション ・指示理解 ・対人関係		一斉指示だけでは何をしたいかわからないことがある。大人がそばにいたりやや緊張する様子がある。	個別に声をかけたり、仲のいい友達と近くの席になるようにしたりして、友達の様子を見るように促す。
行動・情緒 ・集団活動 ・興味関心	仲のいい友達と一緒に楽しそうに過ごしている。絵本が好きで、話を聞く活動等は集中して参加している。		一番仲のいい子とは別の小学校になるため、他の子とも一緒に関われる機会をもつようにしている。
学 習 ・聞く ・話す ・読む ・書く ・数		書こうとする意欲はあるが、文字の形がうまく捉えられない。似ている文字の読み間違いも多い。	手先が不器用なところがあるので、書く練習だけでなく手全体を使う活動を意識的にやっている。
そ の 他 ・特に気になること	毎日元気に登園している。	行事があるとき等は、登園渋りもある。	月間カレンダーにシールを貼って見通しを示したり、登園後好きな遊びに誘って気持ち切り替えたりしている。

記入日； △ 年 △ 月 △ 日

記入者； 5歳児担任 ○○

6 相談支援機関での状況

※これまで相談してきたこと

こども支援センターで12月に受け付けておく力は弱いという結果だったので、本人が確実にできるところから作業療法では、鉛筆やハサミの使い方が落ちてくるようなので、15分ほど作業をした後、椅子に座布団を敷いた方が姿勢が安定し、集中して取り組めるようです。言語療法では、質問に答える練習をしています。カードを見ながら『いつ』『どこで』『誰が』『何を』の質問に答えることはできるようになってきました。目で見て確かめる手掛かりがあった方が理解しやすいようです。生活の中でも、経験したことを話す機会をもつようにしています。自分から話すのは苦手ですが、興味があることなら会話が広がるようになっています。詳しい内容は、検査結果の資料コピーをみてください。こども支援センターでの個別指導は就学で終わってしまうので、入学後の様子をふまえて学校でどのような支援があった方がいいか相談させてください。	担当者に記入を依頼してください。 (担当者から話を聞いて、保護者が記入してもかまいません) どうすればいいか迷ったら、在籍園や裏面の問い合わせ先に相談してください。
---	--

記入日； △ 年 △ 月 △ 日

記入者； 滑川 花子(母)